

謹賀新年被災地の早期復興を祈ります

皆様お元気で新年をお迎えのことと思います。昨年、東日本大震災と福島原発事故はこれまでの考え方・常識を変えざるほどの大きな教訓を残しました。お悔やみとお見舞いを申し上げ被災地の復興と早期の原発収束を祈ります。

この教訓を「**ど元過ぎれば熱さを忘れる**」にならぬように日頃から「**近所同志の絆**」の確認や**避難訓練への参加**など被災地に思いを致すと共に**安全・安心の町づくり**に努力して行きたいものと思います。

12月議会 災害復旧費等 8千2百万円余を補正

12月議会では「公の施設」の指定管理者の指定など条例と災害復旧費や交流センターの修繕費など8千万円余の補正予算が可決承認されました。中で、高速道尾道・松江線が3月24日に吉田・掛合インターまで開通するため開通記念行事に3百万円。(開通記念ウオ

ーキングなど)また吉田町川尻地区に計画されている「バス停留所兼活性化施設」の実施計画作りに5百万円が計上されました。島根県・雲南市の南の玄関口、雲南地域の活性化に大きな役割を果たす施設です。これからの大動脈となる尾道・松江線に相応しい将来に耐え得る施設を計画建設して欲しいと思います。

大万木トンネル貫通

近郷一の長大トンネル

尾道松江線の県境・大万木山をくぐる延長約5Kmのトンネルが貫通しました。12月19日関係者が最後の貫通発破。島根広島がトンネルで結ばれました。早期の完成・供用開始が待たれます。安全第一で



建設による島飛舗老の施工と佐藤工業の貫通の万歳！と握手。

東北被災地訪問記(その1) 陸前高田市の激甚災害に涙

昨年3月11日発生した大地震と大津波で壊滅的な被害を受けた現地を直接この目で見ようと会派・至誠で陸前高田市を訪問。同市議会の佐竹議員から当日のすさまじい状況と生死を分けた咄嗟の対応などを具に伺うと共に現地に同行して説明いただきました。初めに市街地があった市役所周辺。「ここに商店街がズラリ、こっちは住宅地・・・」「元警察署・・・署長も亡くなって」。市役所の対面、教育委員会が入っていた建物も全壊、教育長初め多くの職員が犠牲になられたと伺い言葉もありません。ただ合掌。市長・佐竹議員他数名の職員が市



並んで立ち家が住宅や商店街の中心地が片づけられ再建の予定は未定

役所屋上に避難。黒い壁となつて押し寄せる津波の恐怖と衝撃。どす黒い水が渦巻く中、冷たい不安な夜を過ごす。早朝余震や津波の再来の恐れの中、もしもの事態を考慮し幹部職員を屋上に残し市長と佐竹議員等先発隊がラセン階段を下りへドロと瓦礫の間をなんとか高台にたどり着き、早速災害対策本部が立ち上げられた。その後市長はじめ不眠不休の救出活動。(市長夫人は被災され亡くなられた・・・合掌)。体育館の青シートの上に仮安置された千人超のご遺体の間で身内を探されるご家族の様子など切実な話の数々。発災からやがて一年が経過します。復興には長い時間を要すると思えます。私達にできる支援は種々の教訓を活かすと共に**小さな絆でも**持ち続ける事が大切と痛切に感じた研修でした。

編集後記 失礼の段お許し下さい。議員定数について2月上旬に地区毎に議会報告会でご意見を伺います。最寄り会場にお出かけ下さい。3月議会で最終結論の予定 眞